

# 平成30年度 甲府市地域公共交通会議（山梨県甲府市） （地域公共交通調査事業（計画策定事業））

## 概要

公共交通の概況としては、鉄道（中央本線：JR東日本、身延線：JR東海）、バス事業者2者が運行する路線バスのほか、本市主体のコミュニティバスや市町村運営有償運送が運行されている。

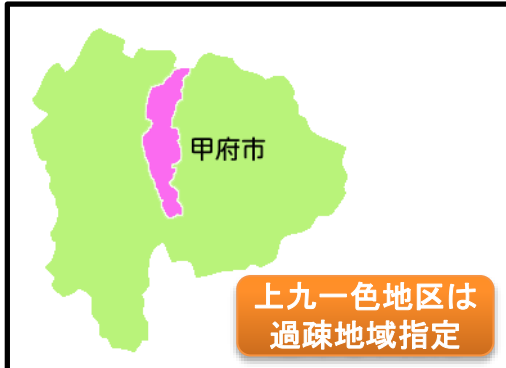
鉄道は、中央本線で甲府駅及び酒折駅の2駅、身延線で甲府駅の他に5駅立地しており、本市のほぼ中央に位置する甲府駅は、主要な交通結節拠点としての機能を担っている。

また、路線バスは、近隣市町に接続されている路線があり、広域的な輸送機能を担っている一方で、甲府駅から放射状に広がっており、本市の郊外では運行頻度が低い状況も見受けられる。

加えて、コミュニティバスや市町村運営有償運送については、中山間地域等での交通手段のない交通不便者のために欠くことができないものとなっている。

本市では、これまで市民の生活交通を確保するための取組を行ってきた一方で、公共交通を取り巻く環境は依然として厳しく、少子高齢化や過度の自家用車依存社会の進展等に伴い、利用者の減少を起因とする運行本数の削減等のサービス水準の、低下が生じることなどが懸念される。

これらの懸念に対応するため、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通ネットワークの形成を図るため、地域公共交通網形成計画を策定することとする。



面積	212.47km <sup>2</sup>	
人口（H30.3.31時点）	189,200人	
	15歳未満	22,982人
	65歳以上	54,776人
高齢化率	28.95%	
世帯数	90,167世帯	

## 計画策定調査の必要性

本市の公共交通は、基幹的な輸送を担う鉄道と、その鉄道を補完する路線バスなどが相互に連携し、通勤、通学、通院をはじめとした市民の日常生活を支える社会基盤として重要な役割を担っている。

本市の公共交通を取り巻く状況としては、公共交通の利用者は微増はしているものの、人口減少、少子高齢化が加速度的に進展している状況などを踏まえると、公共交通を未来に残せるよう、望ましい公共交通ネットワークの在り方について検討する時期に来ている。

そのため、利用者の移動特性やニーズなどを把握した上で、公共交通サービスの提供の在り方、事業形態や交通モードの在り方等の検討を行い、まちづくりと一体となった持続可能な公共交通ネットワークの形成を図るため、「甲府市地域公共交通網形成計画」を策定するための調査を実施する。

## 協議会開催状況

- 協議会の開催状況 3回開催
- ・第1回（平成30年8月22日）  
公共交通網の課題と施策展開の方向性について
- ・第2回（平成30年11月19日）  
計画骨子・利用促進事業案について
- ・第3回（平成31年1月11日）  
網形成計画（素案）について

## 調査の内容

1. 地域公共交通等の現状把握及び上位・関連計画の把握
  - ①地域公共交通等に関する基礎データの収集(人口の推移、人の動き、公共交通の利用者数等)
  - ②総合計画や都市計画マスタープランなどの上位・関連計画の把握
2. 地域ニーズの把握
  - ①市民アンケート調査:市民の移動実態や目的地となる施設、公共交通の利用実態や考え方等について把握した。
  - ②バス利用者アンケート調査:公共交通利用者を対象に、移動実態や目的地となる施設、公共交通の利用実態や考え方等について把握した。
  - ③事業者ヒアリング調査:交通事業者、企業、大学、商業関係者を対象に、公共交通に対する要望・ニーズ等のヒアリングを行った。
3. 地域公共交通の問題・課題整理  
地域公共交通の課題(他分野との連携が必要な課題や交通独自の課題等)の整理を行った。
4. 地域公共交通網の検討  
市全域における望ましい公共交通ネットワークのあり方について検討を行った。
5. バス等のサービス向上策の検討  
望ましい公共交通ネットワークを形成するための施策について検討を行った。
6. 網形成計画(素案)のとりまとめ  
検討した内容を網形成計画(素案)に位置づけた。
7. 地域公共交通活性化協議会の開催
  - ①第1回(8月22日):公共交通網の課題と施策展開の方向性について協議
  - ②第2回(11月19日):計画骨子、利用促進事業案について協議
  - ③第3回(1月11日):網形成計画(素案)について協議

## 調査事業の結果概要

- ・人口密度が高い割に路線バスの運行が少ない地区(石田地区及び玉諸地区)があり、これらの地域について運行本数の増便や路線の変更等による公共交通の利便性向上を図るための取り組みが必要。
- ・既存の路線バス網は甲府駅から放射状に広がっており、周辺地域相互の連携が希薄となっているが、主要なバス路線同士が交差する箇所等で乗り継ぎ利用を促進し、甲府駅を経由せずに地域間移動の円滑化を図るための取り組みが必要。
- ・地域ごとに公共交通を取り巻く状況が異なることから、それぞれの地域に見合った利用促進策を展開することが必要。等

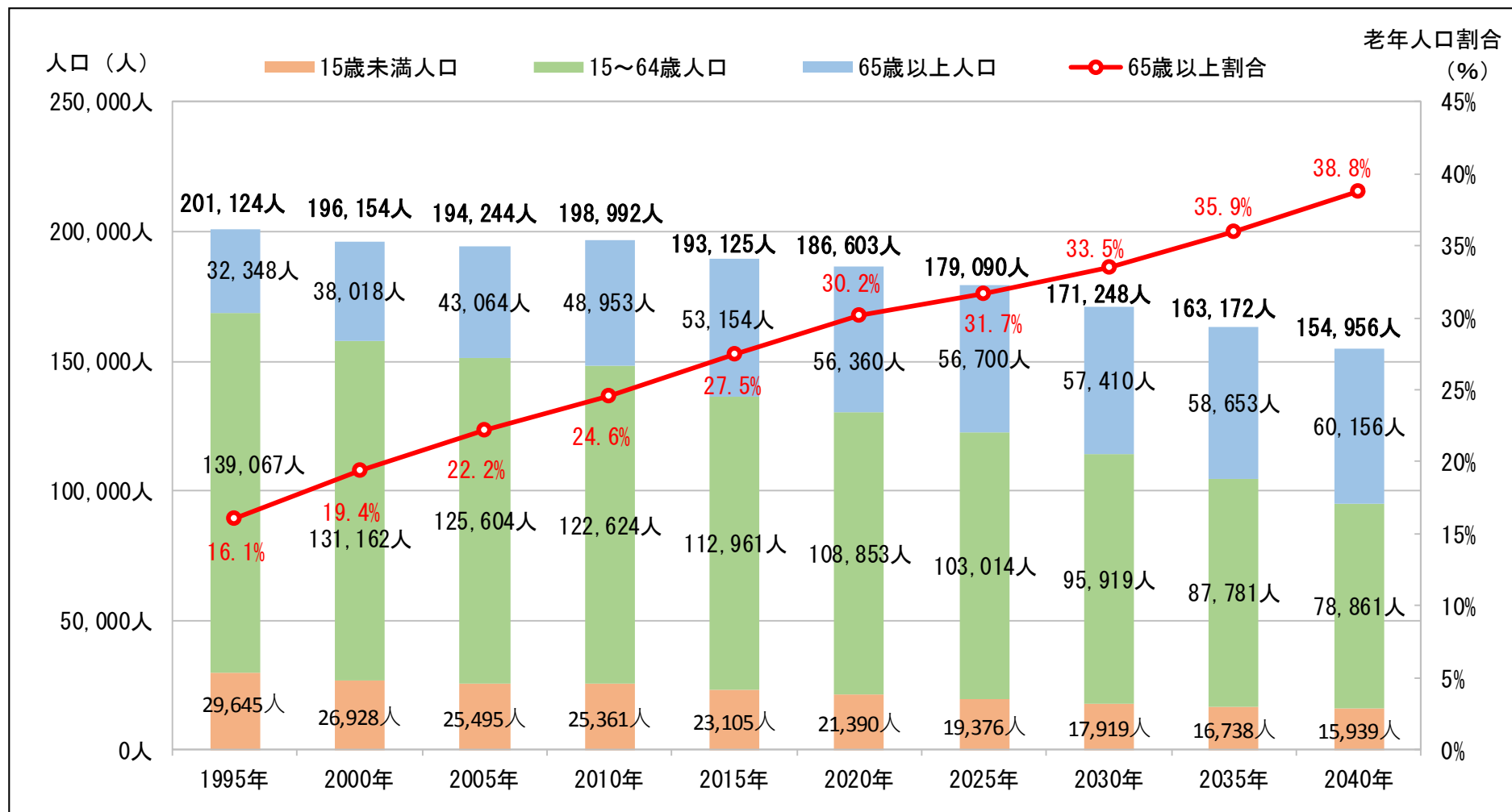
## 生活交通ネットワーク計画等の計画策定の方針

- ・本市の総合計画に掲げる将来の都市像「人・まち・自然が共生する未来創造都市 甲府」を実現するために、公共交通が必要な役割を担う。
- ・今般収集した基礎資料等を有効に活用し、それぞれの交通モードの役割を明確化させた上で、まちづくりと一体となった公共交通ネットワークを形成する。
- ・移動手段として公共交通が利用されるよう、多様な主体と連携し、ターゲットの特性に応じた利用促進策などを展開していく。

## 次年度以降の取組概要

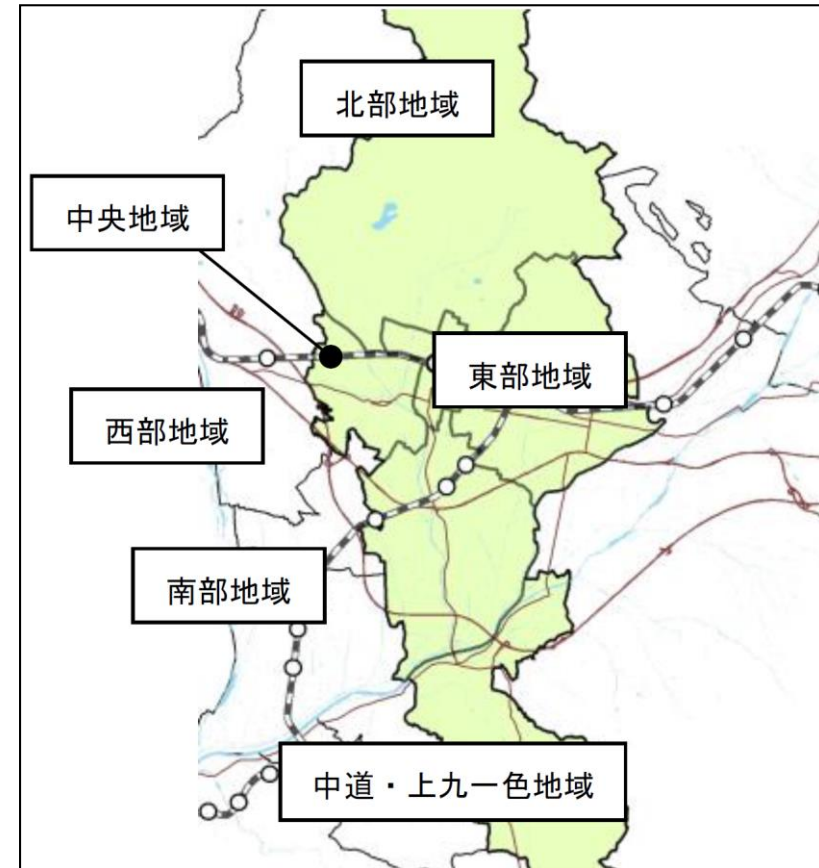
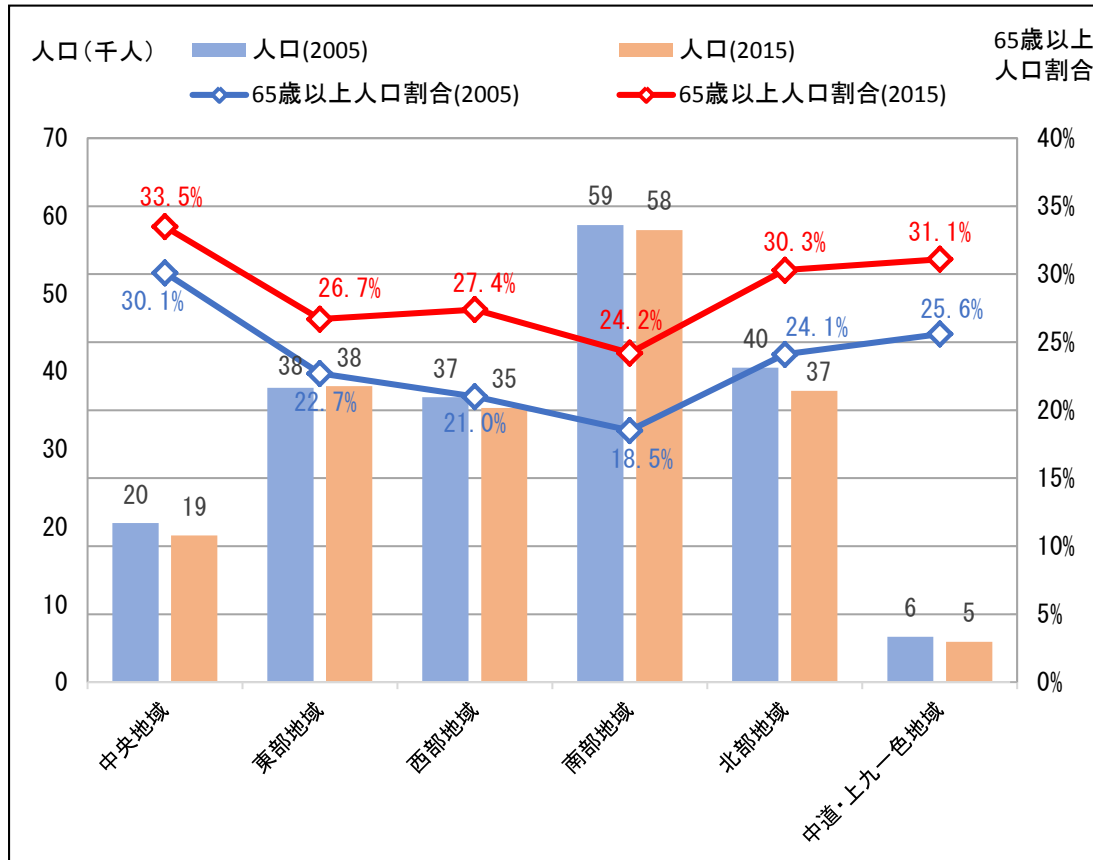
平成31年度:平成30年度に策定する地域公共交通網形成計画の内容を実現するため、計画に位置づけた施策等を推進していく。

# 将来人口推計を含めた人口動態



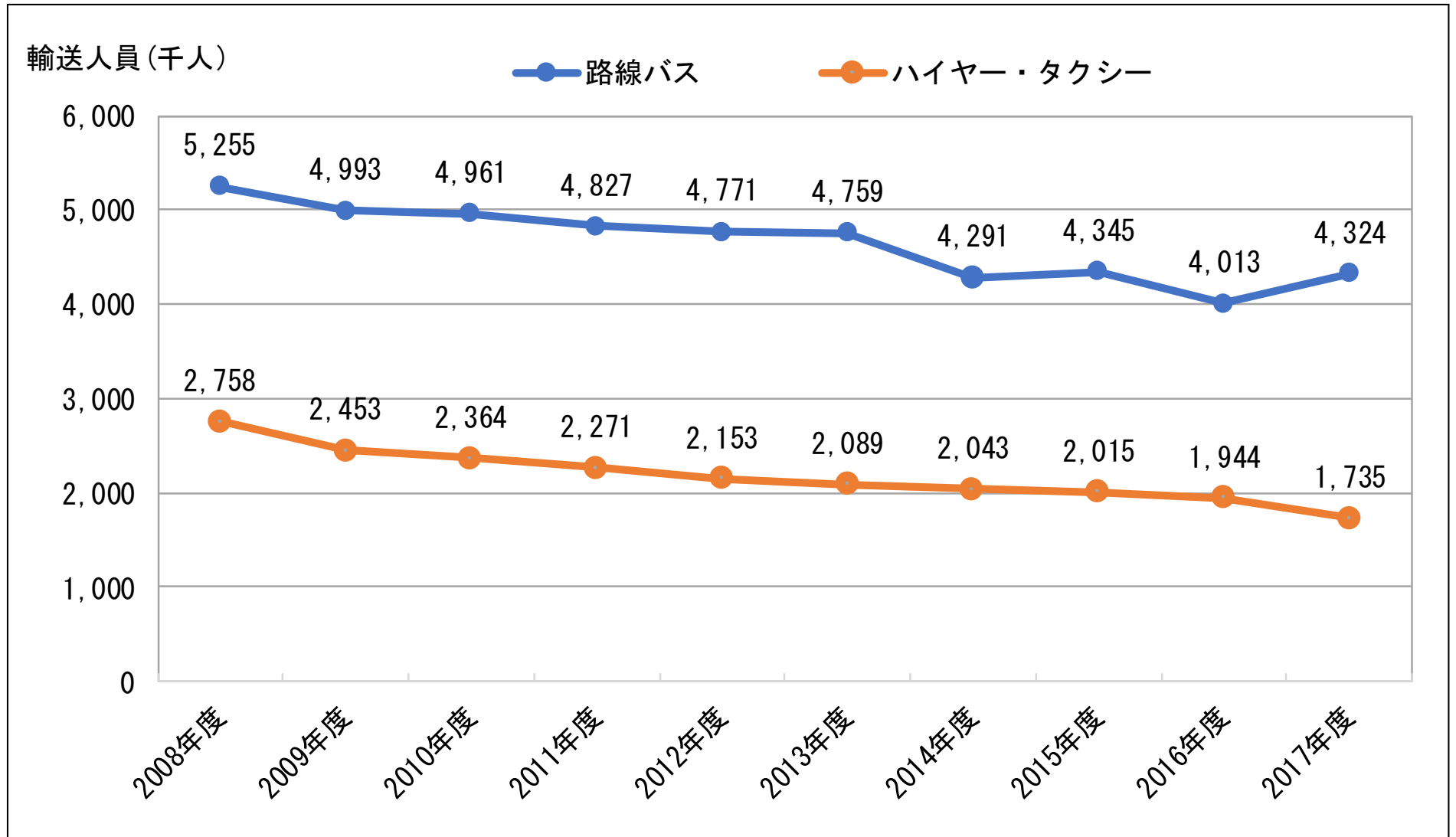
資料: 国勢調査(2015年以前)、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(2018年推計)」(2020年以降)

# 地域別人口



資料:国勢調査(2015年)500mメッシュ人口により集計

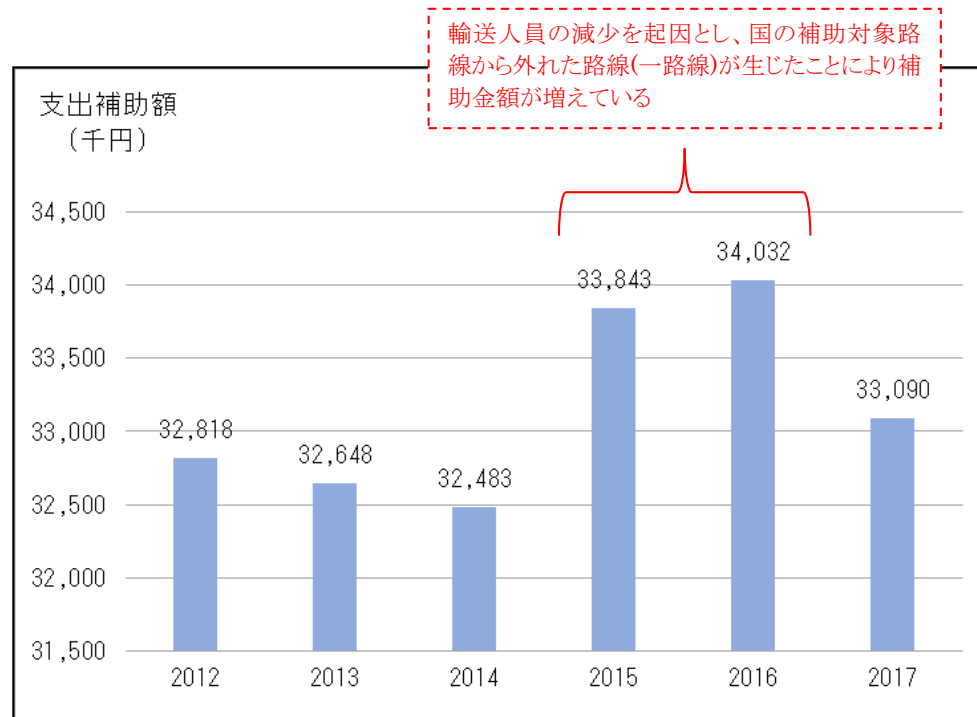
# 公共交通輸送人員の推移



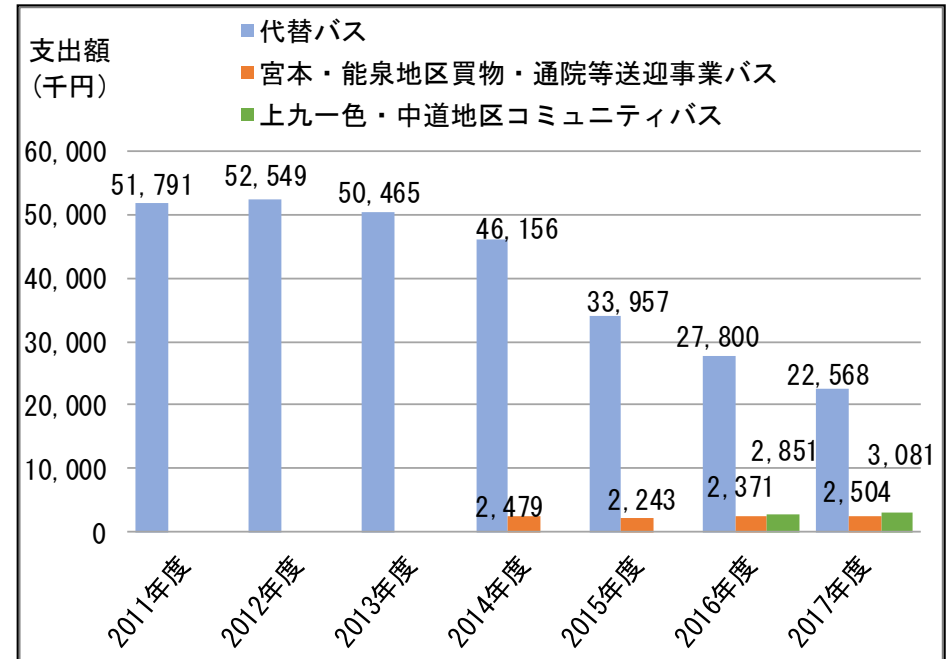
資料：甲府市統計情報

# バス事業に係る支出状況

【補助対象バス路線への支出補助額の推移】



【代替バス・コミュニティバスの支出額の推移】



# 地域公共交通のイメージ

## 【現況】

## 【目標】

